

全科ドリルの王様 4年 答え

答えに
使われる
記号

・ かく順番がきまっています。
例 『㊦、㊧』は、㊦㊧の順に答えていたら正かいです。

・ どの順番でかいてもかまいません。
例 『㊦・㊧』は、㊦㊧でも㊧㊦でも正かいです。

算数

1 一億をこえる数 2 ページ

- ① 三億四千五百七十八万二千三百九十一
② 六兆九千四百九億五百万
- ① 7
② 一兆の位
- ① 3872430000
② 4205800000000
- ① 806000000
② 2300000000000
- ① 9500億 ② 1兆600億
- ① 3億
② 8000億

→てびき 1 右から順に4けたごとに区切ってよみます。

2 4けたごとに万、億、兆と位が変わります。
② 千億の位の1つ上の位を一兆の位といいます。

3 ① 38億7243万だから、38|7243|0000
② 4兆2058億だから、4|2058|0000|0000

4 ① 1億を8こ……8億
100万を6こ……600万
あわせて 8億600万

② 1000億を23こ集めた数だから、
23|0000000000
1|00000000000

5 数直線上の1目もりの大きさは100億です。

6 10倍するごとに位が1つずつ上がります。
10でわるとに位が1つずつ下がります。

2 大きな数の計算 3 ページ

- ①
$$\begin{array}{r} 253 \\ \times 176 \\ \hline 1518 \\ 1771 \\ 253 \\ \hline 44528 \end{array}$$

②
$$\begin{array}{r} 382 \\ \times 419 \\ \hline 3438 \\ 382 \\ 1528 \\ \hline 160058 \end{array}$$

③
$$\begin{array}{r} 407 \\ \times 546 \\ \hline 2442 \\ 1628 \\ 2035 \\ \hline 222222 \end{array}$$

④
$$\begin{array}{r} 89 \\ \times 345 \\ \hline 445 \\ 356 \\ 267 \\ \hline 30705 \end{array}$$
- ①
$$\begin{array}{r} 472 \\ \times 509 \\ \hline 4248 \\ 000 \\ 2360 \\ \hline 240248 \end{array}$$

②
$$\begin{array}{r} 703 \\ \times 208 \\ \hline 5624 \\ 000 \\ 1406 \\ \hline 146224 \end{array}$$
- ① (例)
$$\begin{array}{r} 8600 \\ \times 150 \\ \hline 430 \\ 86 \\ \hline 129000 \end{array}$$

② (例)
$$\begin{array}{r} 530 \\ \times 2900 \\ \hline 477 \\ 106 \\ \hline 153700 \end{array}$$
- ① 61200
③ 612億
- ② 6120000(612万)
④ 612兆

→てびき 1 2けたの数をかける筆算と同じようにできます。

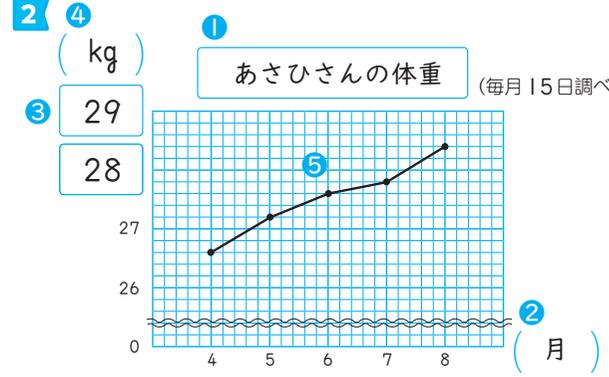
2 ①
$$\begin{array}{r} 472 \\ \times 509 \\ \hline 4248 \\ 000 \\ 2360 \\ \hline 240248 \end{array}$$
 まん中の□は
省いてもかまいません。

3 ② は 53×29 の筆算を使って計算します。

4 ① 170は17の10倍、360は36の10倍とみれば、 170×360 は 17×36 の $10 \times 10 = 100$ (倍)とみて、 $17 \times 36 = 612$ を使って計算できます。

3 折れ線グラフ 4 ページ

- ① 午後2時
② 24度(°C)
③ 午後2時
④ 午後2時から午後4時までの間
⑤ 4度(°C)



→てびき 1 ② たてのじくの1目もりは気温1度を表しています。

③ 気温が上がっているのは、グラフの線が右に上がっているところです。

⑤ 午前8時から午前10時までの2時間で、4目もり上がっています。1目もりは1度なので、気温は4度上がっています。

2 ② 横のじくは月を表しています。

③ 表の中でいちばん重い28.4kgを表すために、1目もりが0.2kgになるように目もりをつけます。0kgから26kgまではしるし印を使って省きます。

④ たてのじくは体重を表しているの、単位はkgです。

⑤ それぞれの月の体重を表す点をうって、順に直線でつなぎます。

4 1けたでわるわり算の筆算①

5 ページ

1 ①
$$\begin{array}{r} 17 \\ 2 \overline{) 34} \\ \underline{2} \\ 14 \\ \underline{14} \\ 0 \end{array}$$
 ②
$$\begin{array}{r} 13 \\ 6 \overline{) 78} \\ \underline{6} \\ 18 \\ \underline{18} \\ 0 \end{array}$$
 ③
$$\begin{array}{r} 15 \\ 4 \overline{) 60} \\ \underline{4} \\ 20 \\ \underline{20} \\ 0 \end{array}$$

④
$$\begin{array}{r} 18 \\ 5 \overline{) 93} \\ \underline{5} \\ 43 \\ \underline{40} \\ 3 \end{array}$$
 ⑤
$$\begin{array}{r} 28 \\ 3 \overline{) 86} \\ \underline{6} \\ 26 \\ \underline{24} \\ 2 \end{array}$$
 ⑥
$$\begin{array}{r} 12 \\ 7 \overline{) 90} \\ \underline{7} \\ 20 \\ \underline{20} \\ 0 \end{array}$$

2 ①
$$\begin{array}{r} 21 \\ 3 \overline{) 63} \\ \underline{6} \\ 3 \\ \underline{3} \\ 0 \end{array}$$
 ②
$$\begin{array}{r} 10 \\ 8 \overline{) 85} \\ \underline{8} \\ 5 \\ \underline{5} \\ 0 \end{array}$$

- 3 ① 式 $70 \div 4 = 17$ あまり 2
 答え 1人17こになって、2こあまる。
 ② $4 \times 17 + 2 = 70$

→てびき ① わり算の答えを商といいます。
 わり算の筆算は、
 「たてる→かける→ひく→おろす」の順に計算します。おろすものがなくなると、おわりです。

- 2 ② 商に0がたつとき、とちゅうの計算を省くことができます。

$$\begin{array}{r} 10 \\ 8 \overline{) 85} \\ \underline{8} \\ 5 \end{array}$$

- 3 ② 答えのたしかめは、
 わる数×商+あまり=わられる数 の式を使います。

5 1けたでわるわり算の筆算②

6 ページ

1 ① 30 ② 70
 ③ 50 ④ 80

2 ①
$$\begin{array}{r} 256 \\ 3 \overline{) 768} \\ \underline{6} \\ 16 \\ \underline{15} \\ 18 \\ \underline{18} \\ 0 \end{array}$$
 ②
$$\begin{array}{r} 243 \\ 4 \overline{) 973} \\ \underline{8} \\ 17 \\ \underline{16} \\ 13 \\ \underline{12} \\ 1 \end{array}$$

③
$$\begin{array}{r} 107 \\ 8 \overline{) 856} \\ \underline{8} \\ 5 \\ \underline{5} \\ 6 \\ \underline{6} \\ 0 \end{array}$$

3 ①
$$\begin{array}{r} 96 \\ 7 \overline{) 672} \\ \underline{63} \\ 42 \\ \underline{42} \\ 0 \end{array}$$
 ②
$$\begin{array}{r} 73 \\ 4 \overline{) 293} \\ \underline{28} \\ 13 \\ \underline{12} \\ 1 \end{array}$$

③
$$\begin{array}{r} 30 \\ 6 \overline{) 184} \\ \underline{18} \\ 4 \\ \underline{4} \\ 0 \end{array}$$

- 4 式 $635 \div 5 = 127$ 答え 127円

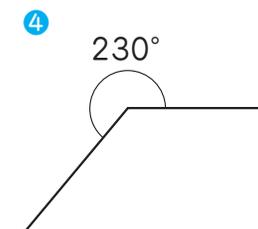
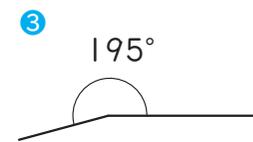
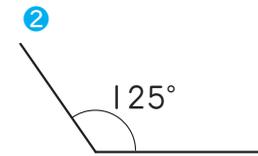
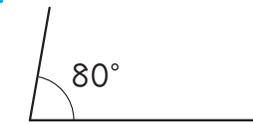
→てびき ② ③
$$\begin{array}{r} 107 \\ 8 \overline{) 856} \\ \underline{8} \\ 5 \\ \underline{5} \\ 6 \\ \underline{6} \\ 0 \end{array}$$
 □の計算は省いてもかまいません。

- 3 百の位に商がたたないとき、商のはじめの0はかきません。

6 角とその大きさ

7 ページ

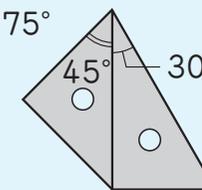
- 1 ① 35° ② 55°
 ③ 140° ④ 330°
- 2 75°
- 3 ①



- 4 省略

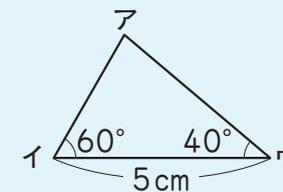
- てびき ① ④ $180^\circ + 150^\circ$ または $360^\circ - 30^\circ$ と考えてはかかります。

- ② $45^\circ + 30^\circ = 75^\circ$



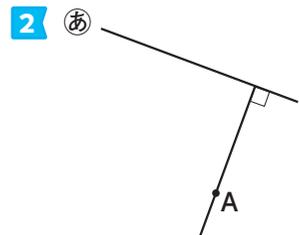
- ③ ③ $180^\circ + 15^\circ$ または $360^\circ - 165^\circ$ と考えてかきます。

- ④ まず5cmの辺イウをかきます。分度器の中心を点イに、 0° の線を辺イウにあわせて、 60° の角イをかきます。同じようにして、 40° の角ウをかきます。角イと角ウをかいたときの直線が交った点が点アになります。



7 垂直と平行 8 ページ

1 垂直…① 平行…②



4 垂直…①・②
平行…③・④

→てびき 1 三角じょうぎを使って調べます。

2 |組の三角じょうぎを使って、点Aを通る垂直な直線をかきます。点Aを通る垂直な直線が直線②と交わって、点Aと反対側にのびていても正かいです。

3 |組の三角じょうぎを使って、点Aを通る平行な直線をかきます。

4 方がん紙の目もりを使って、垂直や平行を調べます。

8 四角形 9 ページ

1 ①① ②② ③③

2 ①7cm ②120°

3 省略

4 ①正方形 ②平行四辺形

→てびき 1 台形は、向かいあう1組の辺が平行な四角形です。平行四辺形は、向かいあう2組の辺がどちらも平行になっている四角形です。ひし形は、辺の長さがすべて等しい四角形です。

2 ② ひし形の向かいあう角の大きさは等しいです。

3 頂点Dは、

①向かいあう辺が平行であること
②向かいあう辺の長さが等しいこと
のどちらかを使って、きめることができます。
①は1組の三角じょうぎ、②はコンパスを使ってかきます。

4 ① 2本の対角線の長さが等しく、それぞれのまん中の点で垂直に交わる四角形は正方形です。

9 小数 10 ページ

1 ①6.783km

②3192m

③8.539kg

④5410g

2 ①⑦2 ②⑨ ③① ④⑥

②2916

3 ①4

②394

③0.058

④0.0716

4 ①< ②>

③< ④<

→てびき 1 1km=1000m、1kg=1000gの關係を使って考えます。

2 ②0.001が1000こで1です。

4 小数の大小も、整数のときと同じように、大きい位からくらべるとわかります。

10 小数のたし算とひき算 11 ページ

1 ①3.83 ②8.05

③3.02 ④11.91

⑤14.45 ⑥12.23

⑦10 ⑧10.8

2 式 1.23+2.43=3.66

答え 3.66L

3 ①5.37 ②2.95

③2.26 ④0.57

⑤0.55 ⑥5.03

⑦5.24 ⑧1.58

4 式 2.13-0.78=1.35

答え 1.35L

→てびき 1 ④の7は7.00、⑤の8は8.00、

⑥の3.5は3.50と考えると計算します。

⑦	9.13	⑧	2.54
	+ 0.87		+ 8.26
	10.00		10.80

2 小数のたし算を筆算でするとき、位をそろえて計算します。

3 ④、⑤一の位の0と小数点をかき加えます。
⑥の4.6は4.60、⑦の8は8.00、⑧の7は7.00と考えると計算します。

4 小数のひき算を筆算でするときも、位をそろえて計算します。

11 2けたでわるわり算の筆算①

12 ページ

1 ① 3
③ 4

2 ①
$$\begin{array}{r} 4 \\ 12 \overline{)48} \\ \underline{48} \\ 0 \end{array}$$

② 2あまり20
④ 9あまり40

②
$$\begin{array}{r} 3 \\ 24 \overline{)72} \\ \underline{72} \\ 0 \end{array}$$

③
$$\begin{array}{r} 2 \\ 31 \overline{)65} \\ \underline{62} \\ 3 \end{array}$$

④
$$\begin{array}{r} 6 \\ 58 \overline{)348} \\ \underline{348} \\ 0 \end{array}$$

⑤
$$\begin{array}{r} 4 \\ 36 \overline{)144} \\ \underline{144} \\ 0 \end{array}$$

⑥
$$\begin{array}{r} 5 \\ 72 \overline{)366} \\ \underline{360} \\ 6 \end{array}$$

3 ①
$$\begin{array}{r} 7 \\ 12 \overline{)90} \\ \underline{84} \\ 6 \end{array}$$

②
$$\begin{array}{r} 9 \\ 48 \overline{)432} \\ \underline{432} \\ 0 \end{array}$$

③
$$\begin{array}{r} 8 \\ 34 \overline{)300} \\ \underline{272} \\ 28 \end{array}$$

4 式 $250 \div 32 = 7$ あまり26

答え 7束できて、26まいあまる。

→てびき 1 ②、④あまりが何十になることに気をつけます。

2 わり算の筆算は、「たてる→かける→ひく」の順に計算します。

① $40 \div 10$ とみて商の見当をつけます。

④ $340 \div 50$ とみて商の見当をつけます。

3、4 見当をつけた商が大きすぎたときは、商を1ずつ小さくしていきます。

12 2けたでわるわり算の筆算②

13 ページ

1 ①
$$\begin{array}{r} 12 \\ 36 \overline{)432} \\ \underline{36} \\ 72 \\ \underline{72} \\ 0 \end{array}$$

②
$$\begin{array}{r} 31 \\ 28 \overline{)879} \\ \underline{84} \\ 39 \\ \underline{28} \\ 11 \end{array}$$

③
$$\begin{array}{r} 16 \\ 53 \overline{)860} \\ \underline{53} \\ 330 \\ \underline{318} \\ 12 \end{array}$$

④
$$\begin{array}{r} 40 \\ 13 \overline{)531} \\ \underline{52} \\ 11 \\ \underline{0} \\ 11 \end{array}$$

⑤
$$\begin{array}{r} 53 \\ 18 \overline{)970} \\ \underline{90} \\ 70 \\ \underline{54} \\ 16 \end{array}$$

⑥
$$\begin{array}{r} 214 \\ 32 \overline{)6854} \\ \underline{64} \\ 45 \\ \underline{32} \\ 134 \\ \underline{128} \\ 6 \end{array}$$

⑦
$$\begin{array}{r} 98 \\ 14 \overline{)1372} \\ \underline{126} \\ 112 \\ \underline{112} \\ 0 \end{array}$$

⑧
$$\begin{array}{r} 41 \\ 126 \overline{)5166} \\ \underline{504} \\ 126 \\ \underline{126} \\ 0 \end{array}$$

⑨
$$\begin{array}{r} 20 \\ 234 \overline{)4812} \\ \underline{468} \\ 132 \\ \underline{132} \\ 0 \end{array}$$

2 ① 9

② 5

③ 32

3 式 $538 \div 17 = 31$ あまり11

答え 1人3まいになって、11まいあまる。

→てびき 1 「たてる→かける→ひく→おろす」

をくり返します。

⑦～⑨百の位に商はたちません。

2 わり算では、わられる数とわる数に同じ数をかけても、わられる数とわる数を同じ数でわっても、商は変わりません。

(例) ① $3600 \div 400$

$\downarrow \div 100$ $\downarrow \div 100$

$36 \div 4$

② $15万 \div 3万$

$\downarrow \div 1万$ $\downarrow \div 1万$

$15 \div 3$

③ $800 \div 25$

$\downarrow \times 4$ $\downarrow \times 4$

$3200 \div 100$

$\downarrow \div 100$ $\downarrow \div 100$

$32 \div 1$

13 割合

14 ページ

1 ① 式 $60 \times 4 = 240$ 答え 240cm

② 式 $60 \div 3 = 20$ 答え 20cm

2 ① ㉠…4倍 ㉡…2倍 ② ㉠ ③ ㉡

→てびき 1 ① $\begin{array}{ccc} \text{青} & \xrightarrow{4\text{倍}} & \text{白} \\ & & \square \text{ cm} \end{array}$

② $\begin{array}{ccc} \text{赤} & \xrightarrow{3\text{倍}} & \text{青} \\ & & \square \text{ cm} \end{array}$

2 ① 何倍にあたるかを表した数が割合です。

㉠ $20 \div 5 = 4$ 4倍

㉡ $30 \div 15 = 2$ 2倍

③ めいさんのゴムひもがのびる割合は、 $40 \div 20 = 2$ 2倍です。

14 式と計算の順じよ① 15 ページ

- 1 式 $80 \div (4 \times 2) = 10$ 答え 10箱
 2 式 $170 + 90 \times 4 = 530$ 答え 530円
 3 ① 60 ② 150
 ③ 3 ④ 27
 4 ① 16 ② 4
 ③ 14 ④ 2

→てびき 1 ことばの式で表すと、
 $\boxed{\text{全部の数}} \div \boxed{\text{1箱の数}} = \boxed{\text{箱の数}}$ です。1箱にはいる数をひとまとまりと考えます。全部の数80こを1箱の数 4×2 (こ)でわって箱の数を求めます。
 ()のある式では、()の中をさきに計算します。

2 ノートの代金とえん筆の代金の合計を求めます。えん筆の代金をひとまとまりとみて、()を使って1つの式にかくと $170 + (90 \times 4)$ となります。たし算やひき算と、かけ算やわり算とがまじった式では、かけ算やわり算をさきに計算するというきまりを使うと、 $170 + (90 \times 4)$ の式は、()を省くのがふつうです。

3 ① たし算やひき算と、かけ算やわり算とがまじった式では、かけ算やわり算をさきに計算します。
 ②、④ ()のある式では、()の中をさきに計算します。
 4 ① かけ算とわり算をさきに計算します。
 $2 \times 9 - 6 \div 3 = 18 - 2 = 16$
 ②~④ ()の中をさきに計算します。
 ② $(2 \times 9 - 6) \div 3 = 12 \div 3 = 4$
 ③ $2 \times (9 - 6 \div 3) = 2 \times 7 = 14$
 ④ $2 \times (9 - 6) \div 3 = 2 \times 3 \div 3 = 2$

15 式と計算の順じよ② 16 ページ

- 1 ①ア 100 ① 184
 ②ア 4 ① 100 ④ 600
 ③ア 100 ① 7 ④ 1100 ⑤ 77 ⑥ 1177
 2 ① い ② 18こ
 3 あ

→てびき 1 計算のきまりを使って、100などのまとまりをつくと、かんたんに計算できます。
 ① $84 + 97 + 3 = 84 + (97 + 3) = 84 + 100 = 184$
 ② $25 \times 24 = 25 \times (4 \times 6) = (25 \times 4) \times 6 = 100 \times 6 = 600$
 ③ $107 \times 11 = (100 + 7) \times 11 = 100 \times 11 + 7 \times 11 = 1100 + 77 = 1177$

2 ① $(2 + 4)$ は横にならんだ黒玉と白玉の数です。⑥の式は(黒玉の数)+(白玉の数)という考え方で求めています。
 3 ①を式で表すと、 $140 + 60 \times 8$ です。

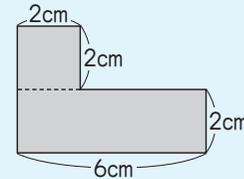
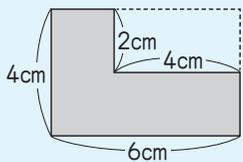
16 面積① 17 ページ

- 1 ① 式 $3 \times 7 = 21$ 答え 21cm²
 ② 式 $8 \times 8 = 64$ 答え 64cm²
 ③ 式 $12 \times 12 = 144$ 答え 144cm²
 ④ 式 $20 \times 40 = 800$ 答え 800cm²
 2 8cm
 3 ① 式 $4 \times 2 + 2 \times 4 = 16$ 答え 16cm²
 ② 式 $6 \times 12 - 3 \times 3 = 63$ 答え 63cm²

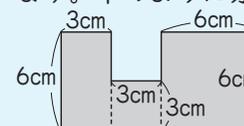
→てびき 2 ^{めんせき}面積を求める式は、 $7 \times \square = 56$ です。

\square を求めると、 $\square = 56 \div 7 = 8$

3 ① たてに線を入れて、2つの長方形に分けて求めます。次のどちらかの考え方で求めても正しいです。
 $2 \times 2 + 2 \times 6 = 16$ $4 \times 6 - 2 \times 4 = 16$

② 大きい長方形から小さい正方形をひいて求めます。下のように分けて考えてもかまいません。
 $6 \times 3 + 3 \times 3 + 6 \times 6 = 18 + 9 + 36 = 63$

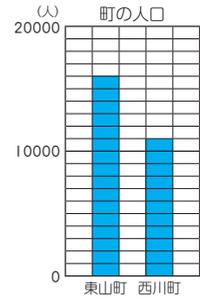


17 面積② 18 ページ

- 1 ① 式 $14 \times 14 = 196$ 答え 196 (m²)
 ② 式 $8 \times 2 = 16$ 答え 16 (m²)
 ③ 式 $400 \times 400 = 160000$ 答え 160000 (cm²)
 ④ 式 $700 \times 300 = 210000$ 答え 210000 (cm²)
- 2 式 $17 \times 3 = 51$ 答え 51 km²
 3 ① 40000 ② 30 ③ 20000
 4 式 $50 \times 90 = 4500$ 答え 45a
- てびき** 1 ② 200cm=2mだから、 $8 \times 2 = 16$
 ④ 3m=300cmだから、 $700 \times 300 = 210000$
 3 ① 1m²=10000cm² ② 1000000m²=1km²
 ③ 1ha=10000m²
 4 $50 \times 90 = 4500$ で、4500m²
 100m²=1aだから、4500m²=45a

18 がい数の表し方 19 ページ

- 1 ① 3000 ② 97000
- 2 ① 520000 ② 4960000
- 3 ① 3800000 ② 91000000
- 4 ① 3350 (以上) 3449 (以下)
② 3350 (以上) 3450 (未満)
- 5 ① 東山町…約16000人 ② 西川町…約11000人



→てびき 1 百の位を四捨五入します。
 2 千の位を四捨五入します。
 3 上から3けた目の位を四捨五入します。
 4 四捨五入で、百の位までのがい数にしたとき、3400になる整数のはんいは、3350から3449までです。
 5 ①百の位を四捨五入して、千の位までのがい数で表します。

19 がい数の計算 20 ページ

- 1 約1400円
 - 2 約27000円
 - 3 約80000円
 - 4 約200円
- てびき** 1 $400+500+500=1400$
 2 $78000-51000=27000$
 3 $200\times 400=80000$
 4 $40000\div 200=200$

20 小数のかけ算 21 ページ

- 1 ① 0.9 ② 4.2
③ 2 ④ 0.08
- 2 ① $\begin{array}{r} 2.6 \\ \times 3 \\ \hline 7.8 \end{array}$ ② $\begin{array}{r} 6.7 \\ \times 4 \\ \hline 26.8 \end{array}$
③ $\begin{array}{r} 0.78 \\ \times 9 \\ \hline 7.02 \end{array}$ ④ $\begin{array}{r} 2.64 \\ \times 3 \\ \hline 7.92 \end{array}$
⑤ $\begin{array}{r} 1.4 \\ \times 5 \\ \hline 7.0 \end{array}$ ⑥ $\begin{array}{r} 0.19 \\ \times 4 \\ \hline 0.76 \end{array}$
- 3 ① $\begin{array}{r} 2.6 \\ \times 41 \\ \hline 26 \\ 104 \\ \hline 106.6 \end{array}$ ② $\begin{array}{r} 6.8 \\ \times 23 \\ \hline 204 \\ 136 \\ \hline 156.4 \end{array}$
③ $\begin{array}{r} 0.72 \\ \times 19 \\ \hline 648 \\ 72 \\ \hline 13.68 \end{array}$ ④ $\begin{array}{r} 2.43 \\ \times 62 \\ \hline 486 \\ 1458 \\ \hline 150.66 \end{array}$
⑤ $\begin{array}{r} 3.4 \\ \times 15 \\ \hline 170 \\ 34 \\ \hline 51.0 \end{array}$ ⑥ $\begin{array}{r} 1.25 \\ \times 36 \\ \hline 750 \\ 375 \\ \hline 45.00 \end{array}$

4 式 $1.5\times 7=10.5$ 答え 10.5L

→てびき 2、3 積の小数点は、かけられる数の小数点にそろえてうちます。小数点の右側にある最後の0は消します。0が右はしから続くときはすべて消します。
 4 筆算でかくと、右のようになります。

$$\begin{array}{r} 1.5 \\ \times 7 \\ \hline 10.5 \end{array}$$

21 小数のわり算① 22 ページ

- 1 ① 0.3 ② 0.4 ③ 0.5 ④ 0.09
- 2 ① $\begin{array}{r} 4.2 \\ 2 \overline{)8.4} \\ \underline{8} \\ 0 \end{array}$ ② $\begin{array}{r} 1.3 \\ 7 \overline{)9.1} \\ \underline{7} \\ 21 \\ \underline{21} \\ 0 \end{array}$
③ $\begin{array}{r} 1.7 \\ 5 \overline{)8.5} \\ \underline{5} \\ 35 \\ \underline{35} \\ 0 \end{array}$ ④ $\begin{array}{r} 7.3 \\ 9 \overline{)65.7} \\ \underline{63} \\ 27 \\ \underline{27} \\ 0 \end{array}$
⑤ $\begin{array}{r} 8.3 \\ 3 \overline{)24.9} \\ \underline{24} \\ 9 \\ \underline{9} \\ 0 \end{array}$ ⑥ $\begin{array}{r} 2.8 \\ 8 \overline{)22.4} \\ \underline{16} \\ 64 \\ \underline{64} \\ 0 \end{array}$
- 3 ① $\begin{array}{r} 0.94 \\ 6 \overline{)5.64} \\ \underline{54} \\ 24 \\ \underline{24} \\ 0 \end{array}$ ② $\begin{array}{r} 0.087 \\ 4 \overline{)0.348} \\ \underline{32} \\ 28 \\ \underline{28} \\ 0 \end{array}$
③ $\begin{array}{r} 2.7 \\ 23 \overline{)62.1} \\ \underline{46} \\ 161 \\ \underline{161} \\ 0 \end{array}$ ④ $\begin{array}{r} 0.7 \\ 12 \overline{)8.4} \\ \underline{84} \\ 0 \end{array}$
⑤ $\begin{array}{r} 0.6 \\ 72 \overline{)43.2} \\ \underline{432} \\ 0 \end{array}$ ⑥ $\begin{array}{r} 0.05 \\ 35 \overline{)1.75} \\ \underline{175} \\ 0 \end{array}$

4 式 $4.89\div 3=1.63$ 答え 1.63kg

→てびき わり算の筆算では、わられる数の小数点にそろえて、商の小数点をうちます。
 4 筆算でかくと、右のようになります。

$$\begin{array}{r} 1.63 \\ 3 \overline{)4.89} \\ \underline{3} \\ 18 \\ \underline{18} \\ 9 \\ \underline{9} \\ 0 \end{array}$$

22 小数のわり算②

23 ページ

1 ①
$$\begin{array}{r} 16 \\ 3 \overline{)48.7} \\ \underline{3} \\ 18 \\ \underline{18} \\ 0.7 \end{array}$$

②
$$\begin{array}{r} 7 \\ 7 \overline{)54.2} \\ \underline{49} \\ 5.2 \end{array}$$

③
$$\begin{array}{r} 6 \\ 14 \overline{)85.7} \\ \underline{84} \\ 1.7 \end{array}$$

2 ①
$$\begin{array}{r} 1.24 \\ 5 \overline{)6.2} \\ \underline{5} \\ 12 \\ \underline{10} \\ 20 \\ \underline{20} \\ 0 \end{array}$$

②
$$\begin{array}{r} 2.85 \\ 12 \overline{)34.2} \\ \underline{24} \\ 102 \\ \underline{96} \\ 60 \\ \underline{60} \\ 0 \end{array}$$

③
$$\begin{array}{r} 0.625 \\ 8 \overline{)50} \\ \underline{48} \\ 20 \\ \underline{16} \\ 40 \\ \underline{40} \\ 0 \end{array}$$

- 3 ① 4.2 ② 1.7 ③ 1.6
 4 式 $18 \div 5 = 3.6$ 答え 3.6倍

→てびき 1 あまりの小数点は、わられる数の小数点にそろえてうちます。
 2 ① 6.2を6.20と考えてわり進めます。
 ③ 5を5.000と考えてわり進めます。
 3 $\frac{1}{100}$ の位まで商を求めて、 $\frac{1}{100}$ の位を四捨五入します。
 4 倍を表す数は、小数になる場合があります。

23 調べ方と整理のしかた

24 ページ

1

学年	メニュー	カレー	シチュー	あげパン	からあげ	焼きそば	合計
1		2	① 2	1	0	0	5
2		2	0	0	0	② 1	3
3		1	1	⑤ 1	0	0	3
4		④ 1	1	0	0	1	3
5		1	1	0	0	0	2
6		0	0	1	⑤ 1	0	⑥ 2
合計		⑦ 7	5	3	1	2	⑧ 18

- 2 ① 1人 ② 5人 ③ カレー

3 ①

種類	1組	2組	合計
サッカー	12	10	22
野球	9	⑩ 10	19
水泳	6	9	⑪ 15
ダンス	⑧ 8	6	14
合計	⑫ 35	35	⑬ 70

- ② サッカー

→てびき 1 学年とメニューに注目して、表に数をまとめます。
 2 ① 6年生とあげパンが交わるころの数を見ましょう。
 ③ メニューごとの合計人数がいちばん多いのはカレーです。
 3 ① 2組の野球が好きな人は $19 - 9 = 10$ 、水泳が好きな人の合計は $6 + 9 = 15$ 、1組のダンスが好きな人は $14 - 6 = 8$ 、1組の人数は $12 + 9 + 6 + 8 = 35$ 、1組と2組の合計は、 $35 + 35 = 70$ と求めることができます。
 ② 表をたてに見ると、1組の中でいちばん人数が多いスポーツはサッカーです。

24 分数

25 ページ

- 1 真分数…⑥・⑧・⑩
 仮分数…①・②
- 2 ① $1\frac{5}{8}$ ② $2\frac{1}{4}$ ③ 1
- 3 ① $\frac{8}{5}$ ② $\frac{11}{6}$ ③ $\frac{18}{7}$
- 4 ① > ② >
 ③ > ④ <
- 5 ① ⑦ 2 ① 4 ② 1
 ③ 8

→てびき 1 分子が分母より小さい分数を真分数、分子が分母と等しいか、分母より大きい分数を仮分数といいます。
 2 整数と真分数の和になっている分数が帯分数です。
 ① $1\frac{13}{8}$ は $\frac{8}{8}$ が1こと、あまりが $\frac{5}{8}$ なので、 $1\frac{5}{8}$ です。
 3 ① $1\frac{3}{5}$ は1と $\frac{3}{5}$ をあわせた数です。
 1は $\frac{1}{5}$ が5こ、 $\frac{3}{5}$ は $\frac{1}{5}$ が3こだから、 $\frac{1}{5}$ が8こで、 $\frac{8}{5}$ です。
 4 帯分数と仮分数の大きさをくらべるときは、2つの分数を帯分数か仮分数のどちらかにそろえてからくらべます。
 5 分母がちがう分数で等しい分数を表すことができます。数直線を見て考えましょう。

25 分数のたし算とひき算 26 ページ

- 1** ① $\frac{4}{3} (1\frac{1}{3})$ ② $\frac{11}{6} (1\frac{5}{6})$
 ③ $\frac{17}{9} (1\frac{8}{9})$ ④ $\frac{8}{4} (2)$
 ⑤ $\frac{14}{7} (2)$ ⑥ $\frac{3}{8}$
 ⑦ $\frac{4}{5}$ ⑧ $\frac{1}{3}$
 ⑨ $\frac{6}{7}$ ⑩ $\frac{9}{9} (1)$
- 2** ① $\frac{5}{3} (1\frac{2}{3})$ ② $\frac{12}{5} (2\frac{2}{5})$
 ③ $\frac{21}{7} (3)$ ④ $\frac{3}{4}$
 ⑤ $\frac{17}{9} (1\frac{8}{9})$ ⑥ $\frac{13}{8} (1\frac{5}{8})$
- 3** 式 $3 - \frac{5}{6} = \frac{13}{6} (2\frac{1}{6})$ 答え $\frac{13}{6} (2\frac{1}{6})$ m

→てびき 分母が同じ分数のたし算やひき算では、分母はそのままにして、分子だけを計算します。

2 仮分数かぶんすうになおしたり、帯分数たいぶんすうを整数部分と分数部分に分けたりして計算できます。

② ・帯分数を仮分数になおす
 $\frac{3}{5} + 1\frac{4}{5} = \frac{3}{5} + \frac{9}{5} = \frac{12}{5}$

・帯分数を整数部分と分数部分に分ける
 $\frac{3}{5} + 1\frac{4}{5} = \frac{3}{5} + 1 + \frac{4}{5}$
 $= 1 + \frac{7}{5}$
 $= 1 + 1 + \frac{2}{5}$
 $= 2\frac{2}{5}$

26 変わり方 27 ページ

1 ①

ゆいさん (オ)	1	2	3	4	5
お姉さん (オ)	6	7	8	9	10

② $\bigcirc + 5 = \Delta$ ③ 20才 ④ 19才

2 ①

(cm) 水のかさと水の高さ

② 25cm

→てびき **1** ②お姉さんとゆいさんの年れいの差はいつも5です。

2 ②5Lは表にはありませんが、①のグラフの直線を右のほうにのばすと、25cmとわかります。

27 直方体と立方体① 28 ページ

1 ① 6 ② 8

2

3 ① 辺AN ② 頂点A・頂点G

4 あ・え

→てびき **1** 立方体も直方体も面の数は6、頂点の数は8です。

2 正面の面からかき、見えない辺は点線でかきます。

3 てん開図を組み立てると、いくつかの辺や頂点が重なる場合があります。

4 あやえは面の重なりや不足で立方体になりません。

28 直方体と立方体② 29 ページ

1 ① ①い・②え・③お

② 辺DC・辺EF・辺HG

③ 辺AB・辺FB・辺DC・辺GC

④ 辺DC・辺CG・辺GH・辺HD

⑤ 辺AB・辺DC・辺EF・辺HG

2 ① (横 3, たて 6)

② たて

3 (横 6cm, たて 0cm, 高さ 3cm)

→てびき **1** ② 1つの辺に平行な辺は3つあります。

④ 1つの面に平行な辺は4つあります。

⑤ 1つの面に垂直な辺は4つあります。

2 ① 点ウは点アから横に3つ、たてに6つ動かした位置です。

3 頂点Fは頂点Aとたての位置が同じで、頂点Aから横6cm、高さ3cmだけ動かしています。

29 表を使って考えよう

30 ページ

- 1 ① 10人
② 1組…12人
2組…22人

- 2 リこさん…犬 みおさん…ハムスター

→てびき 1 表にまとめて考えます。

組	果物	りんご	みかん	合計
1組		18	12	30
2組		10	22	32
合計		28	34	62

1組でみかんを選んだ人は、
 $30 - 18 = 12$ で、12人です。
 2組でりんごを選んだ人は、 $28 - 18 = 10$ で、
 10人です。
 2組でみかんを選んだ人は、 $32 - 10 = 22$ または
 $34 - 12 = 22$ で、22人です。
 1組と2組の合計は、 $30 + 32 = 62$ または
 $28 + 34 = 62$ で、62人です。

- 2 表にまとめて考えます。

	犬	ねこ	うさぎ	ハムスター
ひな	×	○	×	×
ゆあ	×	×	○	×
りこ	○	×	×	×
みお	×	×	×	○

ひなさんはねこ、ゆあさんはうさぎ、りこ
 さんは犬、みおさんはハムスターです。

30 しあげのテスト①

31 ページ

- 1) 28003600000000
 2) 午後2時から午後6時までの間
 3) 15°
 4) ひし形
 5) ① 14 ② 30
 6) ① 5.03 ② 6 ③ 1.77
 ④ $\begin{array}{r} 20 \\ 3 \overline{) 61} \\ \underline{6} \\ 1 \end{array}$ ⑤ $\begin{array}{r} 44 \\ 4 \overline{) 179} \\ \underline{16} \\ 19 \\ \underline{16} \\ 3 \end{array}$ ⑥ $\begin{array}{r} 39 \\ 23 \overline{) 910} \\ \underline{69} \\ 220 \\ \underline{207} \\ 13 \end{array}$

→てびき 1) 二十八兆三十六億だから、
 $28 \mid 0036 \mid 0000 \mid 0000$

- 2) 気温が下がっているのは、グラフの線が右に
 下がっているところです。
 3) $60^\circ - 45^\circ = 15^\circ$
 4) 2本の対角線が、それぞれのまん中の点で垂
 直ちよくに交まわっているから、ひし形です。
 5) ① $16 \times (9 - 2) \div 8 = 16 \times 7 \div 8$
 $= 112 \div 8$
 $= 14$
 ② $32 - (20 - 3 \times 6) = 32 - (20 - 18)$
 $= 32 - 2$
 $= 30$

- 6) ①～③は小数のたし算とひき算の計算です。
 ④～⑥はわり算です。
 ① $\begin{array}{r} 4.08 \\ + 0.95 \\ \hline 5.03 \end{array}$ ② $\begin{array}{r} 3.32 \\ + 2.68 \\ \hline 6.00 \end{array}$ ③ $\begin{array}{r} 7.00 \\ - 5.23 \\ \hline 1.77 \end{array}$

31 しあげのテスト②

32 ページ

- 1) ① $\begin{array}{r} 2.8 \\ \times 7 \\ \hline 19.6 \end{array}$ ② $\begin{array}{r} 0.16 \\ \times 9 \\ \hline 1.44 \end{array}$
 ③ $\begin{array}{r} 5.7 \\ 6 \overline{) 34.2} \\ \underline{30} \\ 42 \\ \underline{42} \\ 0 \end{array}$ ④ $\begin{array}{r} 0.4 \\ 24 \overline{) 9.6} \\ \underline{96} \\ 0 \end{array}$
 ⑤ $\frac{16}{9} \left(1\frac{7}{9}\right)$ ⑥ $\frac{7}{7} (1)$

- 2) ① 80000
 ② 330000

3)

種類	組	1組	2組	合計
りんご		9	12	21
みかん	①	9	11	20
もも		12	8	② 20
メロン		4	③ 5	9
合計	④	34	36	⑤ 70

- 4) 式 $30 \times 50 = 1500$ 答え 1500 cm^2
 5) 辺 DC

- てびき 1) ①、②は、かけられる数にそろえて、
 小数点をうちます。③、④は、わられる数にそ
 ろえて、小数点をうちます。
 2) ① $40000 + 40000 = 80000$
 ② $580000 - 250000 = 330000$
 3) 表をたてに見たり、横に見たりして、表を完成
 させましょう。
 5) てん開図を組み立てたときに重なる辺や頂点
 を調べます。

理科

1 天気と1日の気温

33
ページ

- ①ア ②ウ ③百葉箱 ④花さん
- ①折れ線グラフ
②時こく…午後2時 気温…26℃
③2℃
④①
⑤(例)①のグラフは②のグラフより、1日の気温の変化が小さいから。

- てびき ① ①、②気温は、風通しがよく、地面からの高さが1.2~1.5mのところ、日光がちよくせつ当たらないようにしてはかります。④雲があっても青空が見えているときが晴れ、雲が広がって、青空がほとんど見えないときがくもりです。
- ② ③いちばん高い気温は20℃で、いちばん低い気温は18℃です。
④、⑤くもりの日は晴れの日とくらべて、1日の気温の変化が小さくなります。このことから、気温の変化が大きい②が晴れの日、小さい①がくもりの日であることがわかります。

2 地面を流れる水のゆくえ

34
ページ

- ①ア ②イ ③ア ④ア高い ①低い
- ①ウ, ①, ア ②ア ③大きいつづ(の土)
- (例)(校庭よりも)すな場のすなのほうがつづが大きく、水がしみこみやすいため、水がたまらないから。

- てびき ① 地面を流れる水は、高いところから低いところに向かって流れ、低いところで水が地面にしみこまないと、水がたまります。
- ② 土やすなのつづが大きいほうが、水はしみこみやすいです。
- ③ すな場のすなのほうが校庭の土よりもつづが大きいため、水がしみこみやすく、水たまりができにくいです。

3 電気のはたらき

35
ページ

- ① ①電流の大きさ・電流の向き ②① ③変わる。④(例)かん電池の向きを変えると、電流の向きが変わるから。
- ①直列つなぎ ①へい列つなぎ ②ア ③ウ ④ア

- てびき ① ①かんいけん流計(けん流計)のはりのふれる向きで電流の向きを、ふれぐあいでも電流の大きさを知ることができます。
- ②電流は、かん電池の+極から-極(マイナス)へ流れます。
- ③、④かん電池をつなぐ向きを変えると、電流の向きが変わり、モーターの回る向きが変わります。③は、「逆になる。」とかいても正かいです。
- ② ①アは、かん電池の+極と別のかん電池の-極がつながっているため直列つなぎです。①は、かん電池の+極どうし、-極どうしがつながっているためへい列つなぎです。
- ②直列つなぎでは、かん電池1個のときより大きな電流が流れます。
- ③かん電池の向きから、ウがちがうことがわかります。
- ④かん電池2個のへい列つなぎでは、かん電池1個のときと同じぐらいの大きさの電流が流れます。

4 とじこめた空気や水

36
ページ

- ① ①小さくなる。②ア ③ア ④(例)(おされて)体積が小さくなった空気は、もとの体積にもどろうとするから。
- ①変わらない。②変わらない。
- ①

- てびき ① とじこめた空気をおすと、体積が小さくなります。体積が小さくなるほど、空気におし返される手ごたえが大きくなります。③、④体積が小さくなった空気は、もとの体積にもどろうとするせいしつがあります。
- ② とじこめた水をおしても、体積は変わりません。
- ③ とじこめた空気はおしちぢめられますが、とじこめた水はおしちぢめることはできません。

5 ヒトの体のつくりと運動

37
ページ

- ① ①ほね ②関節 ③ア ④内側のきん肉
- ①きん肉 ②ささえ(守っ)
- ①関節 ②ほね

- てびき ① ②ほねとほねのつなぎ目を関節といっています。
- ④うでを曲げたとき、内側のきん肉はちぢみ、外側のきん肉はゆるみます。
- ② ②ほねはかたくてじょうぶで、体をささええています。また、のうやはいのような体のやわらかいところを守る役わりもあるので、「守っ(たり)」とかいても正かいです。
- ③ ①ほねとほねのつなぎ目が関節で、ここで体を曲げることができます。

6 ものの温度と体積 **38** ページ

- 1 ①ア ②イ
 2 ア
 3 ①実験用ガスコンロ ②イ
 ③ (例) 金ぞくの玉の温度が高くなり、体積が大きくなったから。
 4 空気, 水, 金ぞく

→てびき 1 空気はあたためると体積が大きくなり、冷やすと体積が小さくなります。
 2 水はあたためると体積が大きくなるので、水面はもとの位置より上がります。
 3 ①実験用ガスコンロは、理科の実験で使う加熱器具です。
 ②、③金ぞくの玉を熱すると、温度が高くなり、体積が大きくなるので、輪を通りぬけることができなくなります。
 4 丸底フラスコに入れた空気と水と同じ温度の湯につけると、水より空気のほうが体積の変化が大きいことがわかります。金ぞくは熱しても、見た目ではわからないぐらいしか体積が変化しません。

7 ものあたまり方 **39** ページ

- 1 ①ウ
 ② (例) (金ぞくは、熱した部分から順にあたまるので、) 熱した部分から同じだけはないとあるところなら、同時にあたまるから。
 ③ウ
 2 ①い, あ, う ②ア
 3 ア

→てびき 1 金ぞくは、熱した部分から順に熱が伝わってあたまっていきます。そのため、金ぞくのぼうの真ん中を熱すると左右どちらも同じようにあたまっていきます。
 ③かたむいていても、熱した部分から順に熱が伝わることは変わりません。
 2 底のほうを熱すると、熱せられた部分が上に移動するため、上のほうが先に色が変わり、その後、下のほうまで色が変わります。
 3 空気は、水と同じようにあためられた部分が上に移動して、やがて全体があたまります。そのため、だんぼうしている部屋で空気の温度をはかると、部屋の上のほうが、温度が高くなります。

8 水のすがた **40** ページ

- 1 ①ふっとう石 ②湯気 ③水じょう気
 ④ふっとう ⑤イ
 2 アえき体 ①気体
 3 ①イ ②エ
 ③ (例) 全部氷になるまで、温度は0℃のまま変わらないから。
 (12分より後から温度が0℃より下がったから。)

→てびき 1 ②、③水面から出た水じょう気が冷やされて、目に見えるようになったものが湯気です。
 ④、⑤水は、ほぼ100℃でふっとうします。
 2 湯気は小さな水つぶ(えき体)なので、目に見えます。水じょう気は気体なので、目に見えません。
 3 水は0℃になるとこおり始めます。全部氷になるまで、0℃のままです。

9 水のゆくえ **41** ページ

- 1 ①あ ②ア ③じょう発 ④ウ
 2 ①イ
 ② (例) 空気中の水じょう気が冷やされて水に変わったから。
 3 ①ア
 ② (例) せんたく物にふくまれた水が水じょう気になり、空気中に出ていくから。

→てびき 1 水はふっとうしなくても、じょう発して水じょう気になります。①のよう器では、じょう発してできた水じょう気がふたたび水になり、ラップシートの内側につきます。
 2 ②空気中の水じょう気が、冷たい水の入ったコップの表面で冷やされて、水になります。
 3 しめったせんたく物にふくまれている水も、じょう発して水じょう気になります。

10 夏の夜空・冬の夜空 **42** ページ

- 1 ①あベガ ②アルタイル ③アンタレス
 ④ | 等星
 2 ウ
 3 ①ア ②リゲル ③変わらない。
→てびき 1 ①あはこと座のベガ、②はわし座のアルタイル、③はさそり座のアンタレスで、すべて | 等星です。ベガはおりひめ星、アルタイルはひこ星ともいいます。
 2 午後7時なので、時こくの目もりを19時に合わせます。
 3 ①、②あはベテルギウス、③はりゲルで、どちらも | 等星です。
 ④時こくとともに、星の見える位置は変わりますが、星の並び方は変わりません。

11 月や星の動き

43
ページ

- 1 ①あ半月 ②い満月 ③ア ④イ
2 ①ア ②ア
3 ①イ

② (例) (星の見える位置が変わっても、) 星の
ならび方は変わらないから。

- てびき 1 ②、③月は、太陽と同じように、東
からのぼり、時こくとともに、南の空の高いと
ころを通過して、西へと動きます。月の形がちが
うと、同じ方位に見える時こくはちがいます。
2 ②夏の大きな星は、そのならび方を変えず
に時こくとともにその位置を変えていきます。
3 星のならび方は変わらないから、デネブが動
いた向きと同じ向きに、ベガも動きます。
ベガとデネブは夏の大きな星なので、夏の
大きな星の動きを考えるとわかりやすいです。

12 生き物の1年間①

44
ページ

- 1 ①動物…あ・う 植物…い
②温度計 ③虫めがね ④ア
2 春のようす
3 ①高くなっている。(上がっている。)
② (例) 気温が高くなると、ヒョウタンは大き
く成長する。(くきののびが大きくなる。)

- てびき 1 ②温度計は、えきだめにふれている
ものの温度をはかることができ、気温や水温を
はかるときに使います。
2 サクラは春に花をさかせ、夏に葉をしげらせ
ます。
3 ②気温が上がるにつれ、植物は葉をしげらせ
てくきをのばし、大きく成長します。

13 生き物の1年間②

45
ページ

- 1 ①あ ②ア低く ③色 ④にぶく
2 ①う、い、あ、え ②イ
3 (例) 気温が高くなると、動物はさかんに活
動する。気温が低くなると、活動がにぶく
(なって、あまり見られなく) なる。

- てびき 1 ①イチョウは秋になると葉が黄色く
なります。
②秋になると、植物は葉の色が変わってかれ始
め、くきののびが止まります。また、ヒョウタ
ンなどの植物は実が大きくなりたねができます。
2 ①春にうまれたオオカマキリのような虫は、夏
になると大きくなります。秋になるとたまごを
うみます。オオカマキリはたまごのまま冬をこ
します。
③季節が変わると気温が変わり、生き物のよう
すが変わります。

14 しあげのテスト①

46
ページ

- 1 ①あ
2 ②ア
3 ③い
4 ④あ
5 ① (例) (ボールの中の空気は) おしちぢめら
れると、もとの体積にもどろうとするせいし
つがあるから。
② (例) (海水につけると) ビーチボールの中
の空気が冷やされて、体積が小さくなるから。

- てびき 1 ① くもりや雨の日は1日の気温の变化
が小さくなります。
② ②ア水は、高いところから低いところに向かっ
て流れます。
①時間がたつと、水たまりがなくなりますが、
しみこむはやさが同じとはかぎりません。
③ うでをのばすと、外側のきん肉がちぢみます。
④ ④あは直列つなぎ、④いはい列つなぎです。
直列つなぎのほうがモーターは速く回ります。

15 しあげのテスト②

47
ページ

- 1 ①イ、ウ、④、ア
② (例) 金ぞくでは、熱した部分から順に熱が
伝わってあたたまるから。
2 ①アえき体 ②気体 ③イ
3 ④イ
4 ①ウ ②変わらない。

- てびき 1 ① 金ぞくは熱した部分から順に熱が伝
わってあたたまります。そのため、熱している
ところから遠いところほど、あたたまるのがお
そくなります。
② ①水は温度によって、氷(固体)、水(えき
体)、水じょう気(気体)にすがたを変えます。
②水はふっとうしなくても、じょう発して水
じょう気になります。
③ アは冬のようす、④は夏のようす、⑤は秋
のようすです。
④ ②半月や満月など、月の形が変わっても、動
き方は同じです。

社会

1 都道府県の様子

48 ページ

- 1 ①43 ②東京 ③京都
 2 ①東北 ②関東 ③近畿 ④九州
 ⑤イ・エ・カ
 3 ①石川県 ②千葉県 ③鹿児島県
 ④島根県 ⑤山形県 ⑥福島県 ⑦香川県

→てびき 1 ②東京都には、日本の首都があります。③昔、京都府には、都がおかれていました。
 2 ②アの大分県は九州地方の県で、⑦の秋田県は東北地方の県です。④の高知県は四国地方の県です。
 3 ①石川県は、能登半島が日本海につき出しています。②千葉県の南側には大きな房総半島があります。③鹿児島県は、大隅半島と薩摩半島が南側につき出しています。

2 わたしたちの県①

49 ページ

- 1 ①東北 ②イ ③イ・エ
 2 ①平野 ②山脈 ③ア ④ウ

→てびき 1 ②アの横浜市は、神奈川県の大府所在地です。⑦の盛岡市は、岩手県の県庁所在地です。③アについて、宮城県が併せているのは、岩手県、秋田県、山形県、福島県の4県です。④について、岩手県は北海道について2番目に面積が大きいです。
 2 ①0~100mの色で表されている低い土地は、仙台平野です。②500m以上の色で表されている高い土地は、奥羽山脈です。④西(左側)に高い奥羽山脈が連なっています。

3 わたしたちの県②

50 ページ

- 1 ①米 ②イ
 2 ①イ ②エ
 3 ①〇 ②× ③× ④〇

→てびき 1 福岡県では、南側に広がる筑紫平野で農業がさかんです。②グラフを見ると、いちごは2万トンより少ないことがわかります。
 2 鉄鋼製品は、大きく重いので船で運ばれます。
 3 ①福岡県の主な交通の地図を見ます。地図上に、JR線(新幹線)という線があります。②地図上に高速道路という線があり、山口県につながっているため、自動車で行くことができます。③福岡県の主な交通の地図を見ると、北九州市には北九州空港、福岡市には福岡空港があります。④福岡県の主な土地利用の地図を見ましょう。

4 わたしたちのくらしと水①

51 ページ

- 1 ①ウ ②ア ③エ
 2 ①8000(万㎡) ②(例) ふえている。
 3 ①あ(ウ) ②い(ア) ③あ(オ) ④い(エ)

→てびき 1 ①石油や石炭、木などもしげんです。②水をとる元の場所(みなもと)のことを、水げんといいます。③わたしたちは、じょう水場できれいになった水を使っています。
 2 ②人口がふえるにしたがって、水を使う量もふえています。
 3 ①高い建物では、水を屋上のタンクにおし上げてから、下に流すしくみになっています。②アで、大きなすなやごみを取りのぞきます。①急速かくはん池で、薬品を入れ、水をかきまぜます。②急速ろか池で、④で取れなかった小さなごみやよごれを取りのぞきます。

5 わたしたちのくらしと水②

52 ページ

- 1 ①イ ②ウ
 2 ①ダム ②ア・エ
 3 ①ウ ②水じょう気 ③(例) たくわえる
 ④(水の)じゅんかん

→てびき 1 ①井戸や川の水には、ばい菌がふくまれているため、昔の人々は病気になやまされてきました。②水によごれやにごりがない場合、「水質がよい」といいます。
 2 ①水をたくわえたり、ためた水を川へ流したりするしせつです。②アダムは水害をふせぐため、下流に流す水量を調整します。③ダムは水が流れ落ちるときの力を利用し、電気もおこします。
 3 ①アは下水しり場、②はダムです。③海の水がじょう発して、雲になります。④森は、地下に水をたくわえるはたらきがあります。④じゅんかんしている水は、大切に使うなければなりません。

6 ごみのしりりと利用①

53 ページ

- 1 ①あ(エ) ②い(ア) ③う(イ) ④ぶんべつ
 ⑤せいそう工場・リサイクルプラザ
 2 ①リサイクル ②再利用
 3 ①イ ②ア

→てびき 1 ③せいそう工場でもやされ、リサイクルプラザで再利用できる材料にかえられます。
 2 リサイクルマークは、紙やプラスチック、ペットボトル、金ぞくなどにつけられています。
 3 せいそう工場は、コンピュータを使って、少ない人数で管理されています。

7 ごみのしよりと利用②

54
ページ

1 ア・イ

2 ①ウ ②イ ③ア

3 ①あ今 ②いる

②ありユース ③リデュース ④3R

→てびき 1 ごみをもやすと、たくさんのはいが
出ます。その多くは、しよぶん場にうめられま
すが、一部は、高温でとかして、エコスラグと
いう材料にかえられます。エコスラグは、道路
工事の材料などに使われます。

2 アは、ペットボトルを細かくくだいたもので、
ペレットといいます。ウは、びんを細かくくだ
いたもので、カレットといいます。

3 ①今の商品の多くは、はっぼうスチロールや
ビニールにおおわれています。はっぼうスチロー
ルやビニールは、ごみになります。②3Rを進
めることは、しげんの節約にもつながります。

8 自然災害へのそなえ①

55
ページ

1 ①ふん火 ②土しゃくずれ ③雪

2 ①イ ②ウ

3 ①エ ②ア ③ウ

4 ①ひなん訓練 ②防災倉庫 ③171

→てびき 2 ①津波は、海の近くがいちばんきけ
んです。②火事をふせぐため、まずガスの火を
消さなければなりません。

3 ①エのラジオでじょうほうを得ます。電池式
のラジオは、停電になっても利用できます。

4 ③119は、火事や救急の場合に通ほうする電
話番号です。

9 自然災害へのそなえ②

56
ページ

1 ①防災計画

②ハザードマップ ③イ・オ

2 ①ウ ②ア ③イ ④エ

3 ①共助 ②自助

→てびき 1 ①災害をふせぐための計画で、防災
計画といいます。②「災害予測地図」「防災地図」
「防災マップ」ともいいます。③オ外国語でも書
かれています。

2 ①雪や雨、台風などの気象のじょうほうをて
いきょうするのは、気象台です。気象台は、国
のしせつです。④ひがいにあった住民を救助す
るのは、消防署や消防団です。

3 ①学校や地いきの人たちと「共に助け合う」こ
とです。②自分で「自分の身を助け守る」こと
です。なお、「公助」とは、国や県、市などによる
助けのことです。災害をふせぎ、へらすには、
こうした3つの助けが欠かせません。

10 古くから伝わる文化

57
ページ

1 ①イ ②ウ ③ア

2 ①・ウ

3 ①ア ②イ

→てびき 1 ①地いきで古くから行われている祭
り（太鼓祭り）の様子です。②文化的にかちの
高い建物（道後温泉本館）の様子です。③古く
から行われている行事（節分）の様子です。

2 ①ハザードマップは、災害で予測されるひが
いや、ひなん所などを示した地図です。

3 阿波おどりは、徳島市の伝統的な祭りで、さ
まざまな世代の男女が参加しています。

11 地いきのはってんにつくした人々

58
ページ

1 ①イ ②ウ ③い

2 ①ア○ ②× ③○ ④イ

→てびき 1 ②通潤橋は、橋の中に用水路が通
っています。地図を見ると、用水路を通潤橋が
ないことがわかります。③土地の高さや、
川のある位置などに注目しましょう。

2 通潤橋により、用水路ができたので、水にこ
まらなくなりました。①ア水が十分ではなかつ
たので、あわやひえをつくっていましたが、米
がたくさんつくられるようになりました。④水
害は、ひんぱんに起こっていないので×です。
②通潤橋は、今では、農業だけでなく、観光に
も役立っています。通潤橋のかちを未来に残す
ため、布田保之助らが考えた特別なしっくい
が修復に使われました。

12 さまざまな特色のある地いき

59
ページ

1 ①2000 ②4000 ③ア・ウ

2 ①プサン ②2000 ③国際交流

④(例) 景観を守る

→てびき 1 ③アグラフを見ると、ふえています。
①2005年には1万人をこえています。

2 ①福岡市からのきよりを表した地図です。プ
サンは、福岡から1000km以内にありま
す。③外国の都市や人々と交流することを、国際交
流といいます。福岡市は、とくにきよりが近い
韓国や中国と、国際交流をすすめています。
④太宰府市には、太宰府天満宮という古い神社
があり、歴史的な町なみが残っています。「町な
みを守る」など、同じような意味のことが書かれ
ていれば、正かいです。

13 しあげのテスト① 60 ページ

- 1) ① 関東 ② 福井県
 2) ① 青森 ② 沖縄 ③ 滋賀
 ④ 熊本 ⑤ 鳥取
 3) ① あ(カ) ② い(ウ)
 ② あ低い ③ い下流

→てびき 1) ① 日本の首都がある東京都は、関東地方にあります。② 福井県だけが、中部地方の県です。
 2) ① 青森県は、本州の最も北にある県です。下北半島と津軽半島という2つの半島がつき出ています。② まわりが海にかこまれた都道府県は、北海道と沖縄県だけです。③ 琵琶湖がある県は、近畿地方の滋賀県です。海に面していない県は、全国に8県あります。関東地方の栃木県・群馬県・埼玉県、中部地方の山梨県・長野県・岐阜県、近畿地方の滋賀県・奈良県です。④ 熊本県は、県のマスコットキャラクター「くまモン」で、県の特産品や観光地などを宣伝しています。
 ⑤ 日本最大級のさきゅうは、鳥取さきゅうです。鳥取さきゅうがある県は、鳥取県です。
 3) 地図の色分けをかくにんしましょう。① ② 土地利用を表した地図(右の地図)を見ると、南側の①あたりに果樹園が広がっていることがわかります。③ 土地の高さを表した地図(左の地図)で、600m以上の色で表されている場所を指しているのは、④です。② ③ 左の地図と右の地図を重ねて考えます。工場や住宅、商店の場所は、川の下流に集中していることがわかります。また、左の地図でその場所をたしかめると、0~100mの土地の低い所に集中していることがわかります。

14 しあげのテスト② 61 ページ

- 1) ① イ ② ウ ③ オ
 2) ① ウ
 3) ① 分別
 ② あ(毎週)金曜日 ③ い(第3木曜日)
 ④ う(毎週)月曜日 ⑤ え(第2火曜日)
 ③ リサイクル

→てびき 1) ① 水をきれいにするしせつは、じょう水場です。下水しより場は、家庭や工場で使った水をきれいにするしせつです。② 森林の土は、落ち葉などがつもっていて、スポンジのようにやわらかくなっています。この土が、ダムと同じく、水を地下にためるはたらきをします。たくわえられた水は、少しずつ川に流れこみます。③ 水を節約することを、「節水」といいます。
 2) ① じょう発すると、大気中で「雲」になります。② 「地上にふり」とあるので、「雨」か「雪」だとわかります。③ 地上にふった水は、地下にたくわえられ、「地下水」となって、自然の川や海に流れこみます。
 3) ① ごみを種類ごとに分けて出すことを、分別といいます。分別は、ごみの量をへらすことや、リサイクル(再利用)を進めることを目的にしています。② ③ ゴ�は、紙に再生できるので、しげんごみです。表を見ると、しげんごみのしゅう集日は、毎週金曜日です。④ ガスかんは、ばく発するきけんがあるので、きけんごみです。⑤ 生ごみは、もえるごみです。⑥ 自転車はもえないごみですが、大きいので、そだごみのしゅう集日に出さなければなりません。③ 問題文のマークは、再利用できる製品についてのリサイクルマークです。マークの文字の「PET」は、ペットボトルを表しています。

15 しあげのテスト③ 62 ページ

- 1) ① あ津波 ② い高台 ③ ④ ⑤
 ③ あ(イ) ④ い(ウ)
 2) ① イ ② ア ③ ④ ⑤
 3) ① ア

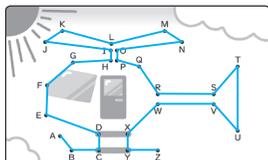
→てびき 1) ① ひょうしきは、せまってくる波から、高い所に向かってにげている人の様子を表しています。津波は、地震や海底火山のふん火などによって起こります。津波が起こったら、すぐに高台ににげなければなりません。② ハザードマップは、災害のひがいのおそれのある場所や、にげる道すじ(ルート)、ひなん場所などを記した地図です。③ 自然災害が起こったとき、家族みんながいっしょにいるとはかぎりません。仕事や買い物に出たり、学校やじゅくに行ったりすることもあります。そんなときのために、家族みんなが「集まる場所」を決めておくこととよいでしょう。また、防災グッズを入れたひなん用のリュックを用意することも大切です。このように、自分で自分の身を守ることを、「自助」といいます。
 2) ① 高いかちがある文化財は、国や県がほごしています。② 特産品には、農産物や工業製品のほか、魚かい類などもあります。③ 美しい風景やいせきなどが残っているところを名勝といいます。
 3) 整備前の写真(上の写真)を見ると、電柱が立っています。しかし、整備後の写真(下の写真)を見ると、電柱は立っていません。美しい歴史的な景観を守るため、電柱をなくして、電線を地下にうめたのです。④ の道路は、整備前と整備後で、変わりはありません。

英語

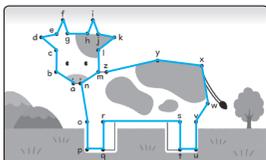
1 アルファベット

63
ページ

1 ①

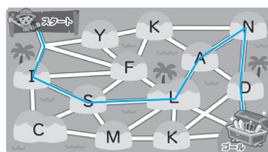


②



2 ① F ② L ③ N ④ h ⑤ j ⑥ u

3



読まれた英語と意味

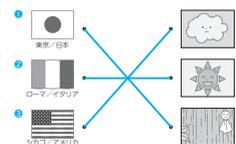
I, S, L, A, N, D (= island) 島

→てびき ② 大文字は、いちばん上の線から3番目の(青い)線までの間に書きます。小文字は、さまざまな形があるので、書く場所に注意しましょう。jは上の点をわすれずに書きましょう。

2 遊びにさそおう

64
ページ

1



読まれた英語と意味

- I'm in Tokyo, Japan. ぼくは日本の東京にいます。It's rainy. 雨がふっています。
- I'm in Rome, Italy. わたしはイタリアのローマにいます。It's sunny. 晴れています。
- I'm in Chicago, America. ぼくはアメリカのシカゴにいます。It's cloudy. くもっています。

2 3 省略

4 ① ②

読まれた英語と意味

- Let's make a snowman. 雪だるまを作しましょう。
- Let's play cards. トランプをしましょう。

→てびき 「～をしましょう。」とさそうときは、Let's ～. という表現を使います。

3 何曜日にする?

65
ページ

1 ① ○ ② × ③ ○

読まれた英語と意味

What day is it? 何曜日ですか。

- It's Sunday. 日曜日です。
- It's Monday. 月曜日です。
- It's Thursday. 木曜日です。

2 3 省略

4 ① Fridays ② Wednesdays

読まれた英語と意味

- I study English on Fridays. わたしは金曜日に英語を勉強します。
- I clean my room on Wednesdays. ぼくは水曜日に自分の部屋をそうじします。

→てびき 「～曜日に」と言うときは、on + 曜日で表します。曜日の最後にsをつけると、「(毎週)～曜日に」という意味になります。

4 何時にする?

66
ページ

1 ① 3:00 ② 11:30 ③ 2:50

読まれた英語と意味

What time is it? 何時ですか。

- It's 3 (three) p.m. 午後3時です。
- It's 11:30 (eleven thirty). 11時30分です。
- It's 2:50 (two fifty). 2時50分です。

2 3 省略

4 ① 7時10分 ② 8時15分

読まれた英語と意味

- It's 7:10 (seven ten). 7時10分です。It's "Breakfast time." 朝食の時間です。
- It's 8:15 (eight fifteen). 8時15分です。It's "Bath time." お風呂の時間です。

→てびき fifteen の ee は、口をあまり大きく開けず、横に開いて「イー」とはっきり発音しましょう。数字にはこの ee を使ったものがたくさん出てきます。

5 持ちものをたずねよう

67
ページ

1 ① ○ ② × ③ ○ ④ ×

読まれた英語と意味

- Do you have an eraser? あなたは消しゴムを持っていますか。Yes, I do. はい、持っています。
- Do you have a pencil? あなたはえん筆を持っていますか。No, I don't. いいえ、持っていません。
- I have a marker. わたしはマーカーを持っています。
- I don't have a ruler. ぼくは定規を持っていません。

2 3 省略

4 ① a magnet ② a calendar

読まれた英語と意味

- I have a magnet. ぼくはじしゃくを持っています。
- I don't have a calendar. ぼくはカレンダーを持っていません。

→てびき eraser のように母音で始まる言葉には、前に a ではなく、an をつけます。また、ものが2つ以上あるときには、two pencils のように、ものの前に数をおいて、ものの言葉の最後に s をつけます。

6 ほしいものを伝えよう 68 ページ

- 1 ① tomatoes ② cabbages ③ carrots

読まれた英語と意味

What do you want? あなたは何がほしいですか。

- ① I want tomatoes. トマトがほしいです。
② I want cabbages. キャベツがほしいです。
③ I want carrots. にんじんがほしいです。

- 2 ③ 省略

- 4 ① ㊦ ② ㊧

読まれた英語と意味

- ① What do you want? あなたは何がほしいですか。
I want onions. 玉ねぎがほしいです。
How many? いくつほしいですか。
Two, please. 2つお願いします。
② Five oranges, please.
オレンジを5つお願いします。

→てびき ④ ほしいものを言うときは、②のように、～, please. とすることもできます。

7 お気に入りの場所は? ① 69 ページ

- 1 ① ㊦ ② ㊧

読まれた英語と意味

- ① Go straight. まっすぐ行ってください。
This is the classroom. こちらが教室です。
② Turn right. 右に曲がってください。
That is the science room. あちらが理科室です。

- 2 ③ 省略

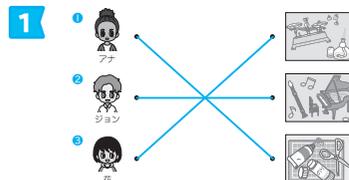
- 4 図書室

読まれた英語と意味

- Go straight. まっすぐ行ってください。
Turn right. 右に曲がってください。
Go straight. まっすぐ進んでください。
And stop. そして、止まってください。

→てびき 学校の場所を表す言葉はほかに、gym「体育館」、cooking room「調理室」、library「図書室」、teachers' room「職員室」などがあります。

8 お気に入りの場所は? ② 70 ページ



読まれた英語と意味

- ① This is my favorite place.
ここはわたしのお気に入りの場所です。
I like arts and crafts. わたしは図工が好きです。
② This is my favorite place.
ここはぼくのお気に入りの場所です。
I like music. ぼくは音楽が好きです。
③ This is my favorite place.
ここはわたしのお気に入りの場所です。
I like science. わたしは理科が好きです。

- 2 ③ 省略

- 4 ① books ② 図書室 (図書館)

読まれた英語と意味

- This is my favorite place.
ここはわたしのお気に入りの場所です。
I like books. わたしは本が好きです。

→てびき お気に入りの場所について、理由をたずねるときは、Why? を使います。

9 一日の流れを話そう① 71 ページ

- 1 ① 〇 ② × ③ × ④ ×

読まれた英語と意味

- ① I brush my teeth. ぼくは歯をみがきます。
② I have dinner. わたしは夕食を食べます。
③ I leave my house. わたしは家を出ます。
④ I take a bath. ぼくはお風呂に入ります。

- 2 ③ 省略

- 4 ① wash my hands ② have breakfast

読まれた英語と意味

- ① I wash my hands. わたしは手をあらいます。
② I have breakfast. わたしは朝食を食べます。

→てびき ① ① 1本の歯は tooth(トゥース)、たくさんならんだ歯は teeth(ティース) と言います。歯をみがくときは、1本ではないので teeth を使います。

③ ① wake up は「目が覚める」、get up は「目が覚めて) 起き上がる」という意味です。

10 一日の流れを話そう② 72 ページ

- 1 ① 6:00 ② 7:15 ③ 7:30

読まれた英語と意味

- ① I wash my face at 6:00 (six).
わたしは6時に顔をあらいます。
② I take out the garbage at 7:15 (seven fifteen).
わたしは7時15分にごみを出します。
③ I go to school at 7:30 (seven thirty).
ぼくは7時30分に学校へ行きます。

- 2 ③ 省略

- 4 ① × ② × ③ 〇

読まれた英語と意味

- ① I go home at 5:00 (five).
わたしは5時に家に帰ります。
② I go to bed at 9:00 (nine). わたしは9時にねます。
③ I do my homework at 4:30 (four thirty).
ぼくは4時30分に宿題をします。

→てびき I (わたしは) のあとに、いろいろな動作を意味する言葉を加えて、一日の生活の流れを表してみましょう。文の最後に、at + 時刻をつけると、「わたしは〇時に～をします。」という意味になります。自分はふだん、何時に何をしているか、かくにんしながら言ってみましょう。

- 1) ① a glue stick ② classroom
③ Saturday ④ five

- 2) ①ウ ②ウ

🎧 読まれた英語と意味

- ① I go home at 4:00 (four).
わたしは4時に家に帰ります。
② I take a bath. ぼくはお風呂に入ります。

- 3) ①× ②× ③○ ④○

🎧 読まれた英語と意味

- ① I go swimming on Mondays.
ぼくは月曜日に水泳に行きます。
② I wake up at 6:00 (six).
わたしは6時に目が覚めます。
③ I have a marker. わたしはマーカーを持っています。
④ Turn left. 左に曲がってください。
This is the music room. こちらが音楽室です。

- 4) ①りんご ②7時(7:00)
③日曜日 ④理科室

🎧 読まれた英語と意味

- Hello, I'm Hana. こんにちは、わたしは花です。
I like apples. わたしはりんごが好きです。
I wake up at 7:00 (seven). わたしは7時に目が覚めます。
I clean my room on Sundays.
わたしは日曜日に自分の部屋をそうじします。
My favorite place is the science room.
わたしのお気に入りの場所は理科室です。
I like science. わたしは理科が好きです。

- てびき 2) ふだんの生活でよくする動作を表す言葉はほかに、put on my clothes「洋服を着る」、take off my shoes「くつをぬぐ」、take a shower「シャワーを浴びる」などがあります。I go to school at 7:30.「わたしは7時30分に学校へ行きます。」などのように、Iとat時刻をセットにして、一日の生活の中で何時に何をしているか声に出して言ってみましょう。

1 漢字の読み書き①

- 1 ①にいがた ②とちぎ ③ふくい
④かながわ ⑤いばらき ⑥ぎふ
⑦しが ⑧おおさかふ ⑨みえ
⑩みやぎ

- 2 ①山形 ②千葉 ③群馬
④青森 ⑤愛知 ⑥福島
⑦埼玉 ⑧山梨 ⑨北海道
⑩東京都

- てびき 1、2 都道府県名は、画数の多い漢字や、特別な読み方をするものがあります。

2 漢字の読み書き②

- 1 ①ひつよう、えいよう
②つめ、きせつ
③がっき、じしん
④はなたば、しゆくふく
⑤そうこ、ち
⑥かがみ、ちょっけい
⑦むしょく、がい
⑧ぐんぶ
⑨とやま
⑩おきなわ

- 2 ①辞典 ②給食、梅 ③固
④昨夜、漁 ⑤続 ⑥連
⑦熱 ⑧努力 ⑨熊本
⑩石川

- てびき 2 ⑦「熱」の訓読みは「あつ(い)」で、「熱いお茶」のように温度が高いことを表すときに使います。

3 文章の組み立て①

- 1 ①あたりまえ
②科学
③(例) この世界のことはあたりまえ、不思議なことなどどこにもないような気になる。
④いろいろなこと、不思議さ
⑤イ

- てびき 1 ①「あたりまえ、不思議なことなどどこにもない」とあります。「あたりまえ」は、不思議ではないことの言いかえです。
②すぐ前に「科学って何だろう。」とあります。
③大人になるとどう思うようになるのかについてのべているところをさがしましょう。
④「好奇心」とは、知らないことなどについてもっと知りたいと思うことです。
⑤最後の一文に筆者の最も伝えたいことがあります。

4 文章の組み立て②

- 1 ①四角い色紙
②結果…イ 結ろん…ウ
③止まったち(ただの紙な)
④むらさき、黄色、青、赤

- てびき 1 ①すぐ後に「花の代わりに、四角い色紙を使ってみました。」とあります。
②「結果」は実験の結果のことです。「結ろん」は、実験の結果からわかったことです。
③「集まって」きたり、「みつをすおうとし」たりしたことで、「花だと思っている」ことがわかります。
④「最も多く集まったのが……来ませんでした。」の文から、順に色を書きぬきましょう。

5 漢字辞典の使い方・部首 78
ページ

- 1** ① 意味や使い方
② 部首, 画数
- 2** ① ア ② エ ③ イ ④ ウ
- 3** ① リン (りん)
② はやし
③ 部首
④ ハ (8)
- 4** ① 開 ② 無

→てびき **2** ③ 「感」の部首の「こころ (心)」は、心に関係がある漢字に使われています。

- 4** ① 「間」と「開」の部首は「門 (もんがまえ)」です。
② 「熱」と「無」の部首は「灬 (れんが・れつか)」です。

6 漢字の読み書き③ 79
ページ

- 1** ① 完 ② 管 ③ 官
④ 以 ⑤ 衣 ⑥ 位
- 2** ① かがしま, しゅう
② かがわ
③ しずおか
- 3** ① 訓読み ② 音読み
③ 訓読み ④ 音読み
⑤ 音読み ⑥ 音読み
⑦ 訓読み ⑧ 訓読み

→てびき **1** ② の「管」と③の「官」は形がにている、まちがいがやすいので、気をつけましょう。
3 ③ 「建」の訓読みは「た (てる)」ですが、「建物」は「建て物」と書かないので、気をつけましょう。

7 漢字の読み書き④ 80
ページ

- 1** ① せんそう, きろく
② せっきょくてき, えいご
③ ふくだいじん, めいれい
④ おく, ちょう
⑤ まご, はくぶつかん
⑥ せつやく, きょうりょく
⑦ しぜん, ふうけい
⑧ さいしょ, うせつ
⑨ とくしま
⑩ ゆうり
- 2** ① 着陸 ② 発達
③ 低空, 飛 ④ 関所
⑤ 伝言 ⑥ 失敗
⑦ 車輪 ⑧ 奈良
⑨ 佐賀 ⑩ 広島

→てびき **1** ⑤ 「孫」の四画目のはらいや、「博」の九画目の点を書きわすれないよう、気をつけましょう。
⑧ 「初」の四画数目を書きわすれないようにしましょう。
2 ⑥ 「失」を「矢」と書かないよう、気をつけましょう。

8 詩を読もう 81
ページ

- 1** ① 夏休み
② ア
③ (迷子の) セミ・
(さびしそうな) 麦わら帽子・
波の音
④ ウ

→てびき **1** ① すぐ前に「夏休みはいつしまった」とあることに着目しましょう。
② 第一連に「夏休みはいつしまった」とあり、その後に「けさ」とあるので、夏休みが終わった次の日の朝のことだとわかります。
④ 第三連に「もう一度 もどってこないかな」とあることや第四連に「さびしそうな」とあることに着目しましょう。夏休みが終わるのをさびしく思っていることが読み取れます。

9 気持ちを読み取る 82
ページ

- 1** ① 夏みかん
② 松井さんも
③ もぎたて
④ (例) においまでとどけたかったから。
⑤ (例) おふくろ (お母さん), うれしかった

→てびき **1** ① 「レモンのおいですか。」と聞かれて、松井さんは「夏みかんですよ。」と答えています。
② 問題文に「人の様子から暑い日であることがわかる」とあることに着目しましょう。「夏がいきなり始まったような暑い日です。」は、人の様子ではありません。
③ 解答のますの数に着目しましょう。また、「～だから。」につながるよう答えることも注意しましょう。
④ お母さん (おふくろ) は、もぎたての夏みかんのにおいが消えてしまわないうちに早くとどけたかったのでしょう。同じような意味のことが書かれていれば、正解です。
⑤ 「おふくろ (お母さん)」、「うれしかった」という意味のことが書かれていれば、正解です。

10 人物の変化を読み取る① 83
ページ

- 1** ①イ
 ② (例) うなぎが(ぬるぬるとすべりぬけるので、)手ではつかめなかった
 ③ (例) 兵十が追いかけてこなかった
 ④イ

→てびき **1** ①すぐ前の文に「いたづらがしたくなった」とあります。また、「ぽんぽん」という言葉から、楽しそうな様子も読み取れます。ごんは、兵十をこませたいわけではなく、ただ楽しいことがしたいと思っています。

②すぐ前の文に着目しましょう。「太いうなぎをつかみにかかりましたが、なにしろぬるぬるとすべりぬけるので、手ではつかめません。」とあります。「うなぎをつかめなかったから。」など、同じようなことが書かれていれば、正解です。また、「～から。」に続くように答えましょう。

③すぐ前の文に「ふり返って見ましたが、兵十は追っかけては来ませんでした。」とあります。ごんが兵十が追っかけて来ているかを気にしていることがわかります。このことが書かれていれば、正解です。

④最初、ごんはいたづらをおもしろがっていました。それから、うなぎがつかめなくて、いらいらし、兵十に見つかりおどろきます。そして、兵十が追いかけてこないと知って、安心しました。

11 漢字の読み書き⑤ 84
ページ

- 1** ①ときょうそう ②さんか、はた
 ③がわ、め ④せいりゅう、あさ
 ⑤そつぎょう、きねん ⑥しかい、えら
 ⑦お、はんせい ⑧かくち、きこう
 ⑨いさ ⑩がいとう
- 2** ①山口 ②仲間、好
 ③和歌山 ④松、焼
 ⑤食塩、分量 ⑥夫、健康
 ⑦不思議 ⑧文末
 ⑨宮崎 ⑩大分

→てびき **1** ①「競」の十画目は「レ」、二十画目は「し」で形がちがうので、気をつけましょう。
2 ⑥「健」の四画目や「康」の五画目は、つき出します。

12 漢字の読み書き⑥ 85
ページ

- 1** ①なお、ほうたい ②みらい、きぼう
 ③しけん、けっせき ④ひょうほん、ぶんるい
 ⑤ふきん、あんない ⑥し、ぐんたい
 ⑦かわぞこ、さ ⑧ほうかご、のこ
 ⑨しょうめい、かいりょう
 ⑩えひめ
- 2** ①周辺 ②長崎 ③市民
 ④唱 ⑤昼飯 ⑥便
 ⑦金貨 ⑧浴 ⑨島根
 ⑩高知

→てびき **1** ⑩「愛」には「え」という読みはなく、「愛媛(えひめ)」は、この言葉のときだけの特別な読み方です。

13 言葉のきまり① 86
ページ

- 1** ①だから ②しかし
2 ①ア ②イ
3 ①ア 母は
 イ 教える
 ウ 妹に
 エ 勉強を
 ②ア 麦茶が
 イ ある
 ウ 冷ぞう庫に
 ③ア わたしの
 イ 兄は
 ウ 通う
 エ 高校に

→てびき **1** () の前と後の文のつながりから考えます。前の文を理由とする文が次に来るときは、「だから」などが入ります。前の文からは予想されない文が次に来るときは、「しかし」などが入ります。
① 前の文を理由とする文が、次に来ています。
② 前の文からは予想されない文が、次に来ています。
③ 文の中で「だれが・何が・だれは・何は」にあたる部分は主語になります。また、「どうする・どんなだ・何だ」にあたる部分は述語になります。そのほかの、「いつ・どこに・だれに・何を」は、主語や述語をくわしくする言葉です。

14 漢字の読み書き⑦ 87 ページ

- 1 ① れいせい
② べんり
③ やしな
④ かお, この
⑤ しそん, さか
⑥ けんこく, かか
⑦ しあい, やぶ
⑧ とも, ゆうはん
⑨ れんぞく, まんてん
⑩ もくざい, こてい
- 2 ① 欠 ② 結
③ 積 ④ 包
⑤ 低 ⑥ 海底
⑦ 折 ⑧ 野菜
⑨ 選挙 ⑩ 種類

→てびき 1 ① 「冷」の左部分は「シ」ではなく、「冫」になっていることに気をつけましょう。
④ 「好」の訓読みは、「この(む)」と「す(く)」の二つがあります。

2 ① 「欠」を形がにている「次」とまちがえないよう、気をつけましょう。
⑤ 「低」と⑥「底」は形がにているので、まちがえないよう、気をつけましょう。

15 段落の関係 88 ページ

- 1 ① 相手の立場から考える
② ウ
③ B
④ ア…○
イ…×
ウ…○

→てびき 1 ① 次の文の「それ」は、筆者が「インフォグラフィックスを作るときに大切にしていること」を指します。
② すぐ前の文に「絵や図を使っている、必ず分かりやすくなるとはかぎりません。」とあります。
③ Bの案内図は、「まよわず安心して目的地に向かえるように」「分かりやすい道順にしぼって」しめしているため、「目的地が決まっている人」に役立つのは、Bの案内図です。
④ ①の段落は、インフォグラフィックスについての筆者の考えがのべられています。②・③の段落は、Aの案内図とBの案内図という二つの例をくらべています。④の段落は、筆者の考えをくり返してまとめています。

16 漢字の読み書き⑧ 89 ページ

- 1 ① かいひょう, けっか
② なふだ, いんさつ
③ くろう, せいこう
④ れい, あ
⑤ しゅざい, ほうほう
⑥ おんくん
⑦ へんか, せつめい
⑧ す, う
⑨ がんぼう
⑩ きょうつう
- 2 ① 特別 ② 働, 求 ③ 手順, 覚
④ 満足, 笑 ⑤ 工芸 ⑥ 老人
⑦ 単位 ⑧ 借 ⑨ 兵庫
⑩ 福岡

→てびき 1 ② 「札」を形がにている「礼」とまちがえないよう、気をつけましょう。

17 気持ちと行動を読み取る① 90 ページ

- 1 ① 一つだけ(—。)
② 一つだけち
③ イ
④ ウ

→てびき 1 ① 同じ文の「これ」が指すのは、すぐ前の「一つだけ—。一つだけ—。」です。
② お母さんが、かわいそうだと思っているところは、すぐ後の文でふれています。ゆみ子だけではなく、当時の人々はみんな、戦争で食べる物が少なく、いつもおなかをすかせていました。
③ ため息をついた後の、お父さんの言葉に着目しましょう。「よろこびなんて、一つだってももらえないかもしれない」と言っています。「山ほどちょうだいと言って、両手を出すことを知らずにすすかもしれない」と言っているため、アの「何でももらえと思っている」は適切ではありません。お父さんは、ゆみ子が「よろこばない」ということは言っていないので、ウも適切ではありません。
④ お父さんは、「よろこびなんて、一つだってももらえないかもしれない」ゆみ子がどんな一生を送るのかを考えると、かわいそうで、せめて「高い高いする」ことで、ゆみ子をよろこばせたいと思っています。お母さんが「なんてかわいそうな子」と言い、お父さんは「みんなちょうだい」と言うことを知らずにすすかもしれないと言っています。イの「ゆみ子にがまんさせたい。」は適切ではありません。また、ゆみ子をこわがらせることについて、ふれているところはないので、アも適切ではありません。

18 気持ちと行動を読み取る② 91
ページ

- 1** ①さみしくて
②けんじ・お母ちゃん
③思わず、ぎ
④どこまでも走れる気がした。
⑤(例) 走ることができたから。

→てびき **1** ①すぐ前に「けんじもさみしくて……」とあります。「けんじも」となっていることに着目しましょう。つまり、のぶよもさみしいのに、お母ちゃんの思いもわかるからさみしさを表すことができなかったのです。
③体が重くなり、後ろへ下がっていったのぶよは、けんじとお母ちゃんの声聞き、「ぎゅんと足が出た」のです。走る様子に変化が表れました。
④「走れない」と反対の表現をさがしましょう。
⑤順位以外で、のぶよが何にほこらしく感じたのかを考えます。のぶよは、「もう、走れない。」と思ったのに、けんじとお母ちゃんのおうえんで最後まで走りました。「どこまでも走れる気がした」ほど、力強く走ることができたことなどについてふれていれば、正解です。

19 漢字の読み書き⑨ 92
ページ

- 1** ①イ ②ア ③イ ④イ
2 ①かんさつ ②ぼくじょう ③さんこう
3 ①冷 ②覚 ③追 ④負 ⑤小
⑥少
4 ①勝敗 ②機械 ③出欠

→てびき **1**、**3** 同じ読みの漢字です。言葉の意味を考え、使い分けましょう。

20 文章の要点① 93
ページ

- 1** ①イソギンチャクを付けていない
②(例) 何かが付れるとはりが飛び出す
③|
④5
⑤ア…× イ…○

→てびき **1** ③の段落の実験では、イソギンチャクを付けていないヤドカリが、④の段落の実験では、イソギンチャクを付けたヤドカリが使われています。実験結果に着目しましょう。タコはイソギンチャクを付けていないヤドカリを食べてしまっています。
②すぐ後に「仕組み」という言葉があることに着目しましょう。
③文末に着目しましょう。問いの形の「～でしようか。」となった文があります。
④⑤の段落の最後の文に、ヤドカリがイソギンチャクを貝がらに付ける理由がのべられています。
⑤はりを出すのは、イソギンチャクなので、「タコを見るとはりを出して」とあるアは×です。「タコや魚はこのことをよく知っていて」とありますが、「このこと」が指すのは、イソギンチャクのしよく手の仕組みのことです。

21 人物の変化を読み取る② 94
ページ

- 1** ①イ
②(例) (赤いさつまいもみたいな) 元気のいい、(例) しおれている
③うなぎを取ってきてしまった
④イ

→てびき **1** ①ごんは、兵十の様子に注目している

るので、それつもの者たちを見るために「のび上がって」いたのです。
②「いつも」「今日」について、ふれているところをさがしましょう。
③「わしがいたずらをして、うなぎを取ってきてしまった。」とあります。ますの数に合わせて書きぬきましょう。
④ごんは、「あんないたずらをしなけりゃよかった。」と言っているの、後かいていることが読み取れます。

22 文章の要点② 95
ページ

- 1** ①やぶれにくい
長もちする
②せんいの長さのちがい
③・温度
・薬品
④(例) 時間がたっても紙の成分が変化しにくい

→てびき **1** ①「とくちょう」という言葉に着目してさがしましょう。

②すぐ後に「せんいの長さのちがいが関係しています。」とあります。
③和紙と洋紙の作り方は、第三段落でのべられています。ますの数に合わせて、二字の言葉をさがしましょう。洋紙は「とても高い温度にしたり、多くの薬品を使ったり」とあり、和紙は「高い温度にすることはなく、薬品もあまり使いません。」とあります。
④すぐ後に「時間がたっても紙の成分が変化しにくく、その結果、長もちするのです。」とあります。この部分と同じ意味のことが書かれていれば、正解です。

23 言葉のきまり②

96 ページ

- 1 ①衣服・言語
②出欠・自他
③塩味
④着席
- 2 ①海 ②急
- 3 ①エ ②イ

→てびき 1 ③「塩味」は、「塩」が「味」をくわしくしています。

④「着席」は、「席に着く」と考えることができます。

2 ①「海底」は、「海の底」と考えることができます。

②「急病」は、「急な病」と考えることができます。

3 ①「生産」は、にた意味をもつ漢字どうしの熟語です。「利害」は、反対の意味をもつ漢字どうしの熟語、「加熱」は下の漢字が「～を」「～に」という意味になる熟語です。

②「下車」は、下の漢字が「～を」「～に」という意味になる熟語です。

24 短歌・俳句

97 ページ

- 1 ①きみがため／はるののにいでて／
わかなつむ／わがころもでに／
ゆきはふりつつ
- ②上…人はいさ心も知らず古里は
下…花ぞ昔の香にほひける
- ③すずめのこ／そこのけそこのけ／
おうまがとおる
- ④エ 季語…柿 季節…秋
オ 季語…名月 季節…秋

→てびき 1 ①「春の野に出でて」は八音です。このように、音数が多い歌もあります。

④俳句は、季節感のある短い詩で、必ず季語がよみこまれています。

25 人物の変化を読み取る③

98 ページ

- 1 ①ごんぎつねめ
②イ

③(例) 土間にかためて置いてあるくり

④(例) くりをとどけてくれていた、ごんをうつなんて、何てことをしてしまったのか。ごんに申しわけない。

→てびき 1 ①最後に「め」をつけるのは、相手のことを悪く思っているときです。

②兵十は、ごんがいつも、くりをくれていることは知りません。うなぎをぬすんだのはごんだと思って、おこっています。

③すぐ前の文に「土間にくりがかためて置いてあるのが、目につきました。」とあります。この部分について書かれていれば、正解です。

④くりをくれていたのがごんだったのに、うってしまったことをくやむ気持ちや、申しわけなく思っていることが書かれていれば、正解です。

26 ことわざ・慣用句・故事成語

99 ページ

- 1 ①イ ②ウ ③ア
- 2 ①馬 ②たぬき
③鳥 ④ぶた
- 3 ①ウ ②ア ③エ ④イ ⑤オ
- 4 ①歯 ②鼻

→てびき 1 ①故事成語は、言葉のもととなった出来事といっしょに覚えましょう。

①まずしくて明かりをともし油が買えないため、ほたるの光や雪あかりを使って勉強にはげんだ、という中国の古い話からできた言葉です。

2 ①動物の名前が入ったことわざや、慣用句はほかにもたくさんあります。

①馬に念仏を聞かせても、大事なことだと理解したり、ありがたがったりしないことからできた言葉です。

3 ④「水に流す」と反対の意味をもつ慣用句に「根に持つ」などがあります。

27 文章の要点③

100 ページ

- 1 ①ウ
②・このまま、
・また、日本
③(例) 生き物の生活の様子を明らかにし、ほごに役立てる

→てびき 1 ①このウミガメは、二さいの時に愛知県の海岸で放流されました。「十三年もの長い旅をして」とあるので、十五さいです。そのため、アは適切ではありません。放流されたのは、愛知県田原市なので、イも適切ではありません。

②文末が問いの形の「～でしょうか。」となっていることに着目します。

③水族館の役わりをまとめましょう。水族館の役わりは二つのべられています。一つは、問題文にあるので、二つ目の役わり「生き物の生活の様子を明らかにし、ほごに役立てる」ことについて書かれていれば、正解です。

28 人物の変化を読み取る④ **101** ページ

- 1 ① ア (例) 公園に来なくなった。
イ (例) 前ほど白熱しなくなった。
ウ (例) 日かげがなくなった。
- ② おじいさん
- ③ (例) 根にささえられているみたいだと感じた。
- ④ (例) 体や広げた手

→てびき 1 ① 「おじいさん」「サッカー」「ベンチ」について書かれているところをさがしましょう。

② すぐ前に「おじいさんがいつもすわっていた、日かげのなくなったベンチにだまってすわりこんだ。」とあります。いつもおじいさんがすわっていたベンチなので、おじいさんのことを考えていたことが読み取れます。

③ 「なんだか、根にささえられているみたいだよ。」とあります。

④ マーちゃんは、みんなの体が木のみきに、両手が広がる枝のように感じられたのです。「体や手」のことが書かれていれば、正解です。

29 しあげのテスト① **102** ページ

- 1 ①ク ②ア ③キ ④イ
⑤カ ⑥ウ ⑦オ ⑧エ
- 2 ① ア わたしは イ ぬぐった
ウ ほしいの エ あせを
オ ハンカチで
- ② ア わたしは イ 植えた
ウ 昨日 エ 庭に
オ なえを
- ③ ア 兄は イ した
ウ すばやく エ 英語の
オ 宿題を

→てびき 1 つなぎ言葉のはたらきを覚えておきましょう。

- ① 前の文に後ろの文をつけ加えています。
- ② 前の文についての説明が、次の文に来ています。
- ④ 前の文から予想されない文が、次に来ています。
- ⑦ 前の文と後ろの文の、どちらかを選ばせています。
- ⑧ 前の文から話題を変えています。

30 しあげのテスト② **103** ページ

- 1 ① 女の子の手足
- ② (たった今) かた足を入れた輪の中
- ③ イ
- ④ (「) がんばれ (、) がんばれ (。)
- ⑤ 雪の下にいる、たくさんの草の種

→てびき 1 ① 初めの二文に、「女の子の手足は……氷のように」、「ほほは青ざめ、くちびるはふるえて」と、女の子の体が冷え切っている様子が書かれています。

② すぐ前に「たった今 かた足を入れた輪の中に」とあります。

③ 女の子はよもぎの葉を、おねに当てています。うれしく、大事に思う様子が読み取れます。

⑤ 「声をそろえて、がんばれがんばれと言っているように思えてきました。」とあるので、「声」に着目してさがしましょう。「雪の下にいる、たくさんの草の種の声でした。」とあります。ここから、ますの数に合わせて、十五字で書きぬきましょう。

31 しあげのテスト③ **104** ページ

- 1 ① (例) ある程度多くの人にとって便利に使用すれば、それでよい
- ② 同じ目的を
- ③ ウ
- ④ (例) 立場
(例) 不便
(例) 少なく

→てびき 1 ① 「そのような」が指す内容は、第一段落にあります。

② 「その例」の一つが「きき手に合わせたはさみ」です。「きき手に合わせたはさみ」は、前の文にある「さまざまな立場の人に合わせて何種類も作られ」たものの一つです。この文の初めの五字を書きましょう。

③ この文章は、①～②の段落は「一人一人が使う道具」について、④、⑤の段落は、「たくさんの人が使うせつび」についてのべています。アは、③～⑤の段落でのべていることではないので、適切ではありません。横断歩道の不便さはのべられていないので、イも適切ではありません。また、道路を使う人がたくさんかどうかはのべられていないので、エも適切ではありません。

④ ⑤の段落の最後の二文に着目します。「使う人の立場や利用するときを考え、不便を感じる人が少なくなるようにする」と同じような意味であれば、正解です。